

# 第40回甲府ジュエリーフェア 〜Kofu Jewelry Fair 2011〜 開催される

ACTIVE KUMIAI



テープカットをする内藤会長夫人(中央右)

協同組合山梨県ジュエリー協会(近藤誠理事長)は6月8日・9日の両日、甲府市の「アイメッセ山梨」において「第40回甲府ジュエリーフェア(Kofu Jewelry Fair 2011)」を開催した。

例年は、信玄公まつり輝きの祭典「大宝飾展」とともに、4月に開催されていたが、震災の影響を考慮し、延期しての開催となった。第40回となる今回のフェアは、「歴史、技術、輝きを未来へ」40回開催に感謝をこめて」と題して、山梨県内の有力ジュエリーメーカーなど68社が出展した。このフェアは、ジュエリーの総合展示会として、全国から宝飾品メーカーや流通業者などが訪れ、2日間の来場者数は1,787人、総売上約18億円を達成した。

組合は、ジュエリー産業は消費の低迷の影響が特に大きいことから、大幅な売上減少を懸念していたが、各社の平均売上高が昨年比マイナス8%にとどまったことから、ジュエリーの産地山梨でフェアを開催した効果が高かったものと評価している。

会場では、山梨産地ブランドである「Kooofu」は、市場を意識して商品開発を行い、各社とも新作発表をしたほか、全国の若者からデザイン画を公募した「フレックシユマン・ジュエリー・デザイン・コンテスト2011」や「山梨県工業技術センター見学ツアー」などのイベントも開催された。

特に今回は、震災被災者の復興支援のため、ジュエリーチャリティー販売も行われた。47社から提供された125点の商品は、1,027,000円で完売し、消費税分を差し引いた全額が山日YBS厚生文化事業団に寄付された。



会場風景

TOPICS

協同組合山梨県ジュエリー協会